

内令

二二二〇

内令第三千二百二十七號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年十月二十五日

海軍大臣、嶋田繁太郎

南東方面艦隊司令部
南西方面艦隊司令部
(水上艦艇用發射關係業務ニ充ツベキモノ)

兵 曹 長 一人

兵 曹、水 兵 二十五人(掌水雷兵〔高七八七〕)

主計兵曹、主計兵 二人(掌經理兵 普一)

0652



内令第二千三百三十四號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年内令第五百五十三號中「夕霧」及「滿潮」ヲ削ル

昭和十八年十月十二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

驅逐艦滿潮

兵 曹、水 兵 九人(掌砲兵(高)一、二 掌信號兵 一)

驅逐艦夕霧

兵 曹、水 兵 十九人(掌砲兵(高)三、四 掌測的兵 一)

参照 昭和十八年内令第五百五十三號ハ驅逐艦初等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令

二二七

0653

内令第二千百三十五號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年十月十二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第四港務部

中少尉(水)、兵曹長 附 一人

内令

三二九

0654

内令第二千二百十一號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年内令第千四百九十八號ハ之ヲ廢止ス

昭和十八年十月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十一魚雷艇隊

中 少 尉 隊附 四人

兵 曹、水 兵 四十一人 (掌砲兵 九)

機關兵曹、機關兵 二十七人 (掌内火兵 九)

參照 昭和十八年内令第千四百九十七號ハ海軍水雷學校ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内 令

二三〇一

0655

内令

一三〇二

内令第二千二百十一號ノ事
大東亞戰爭中海軍省及軍令部ヲ除クノ外各部ノ副官タル兵科士官ノ定員（副官ノ定員二人以上ノ各
部ノ首席副官タルモノヲ除ク）ニハ豫備士官又ハ主計科士官ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

昭和十八年十月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

0656

内令第二千二百十二號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年十月二十日

海軍大臣 嶋田繁鷗太郎

第四海軍軍需部

主計科佐尉官 部員 一人

内令

三三〇三

0657

内令第二千二百二十八號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

本令ハ昭和十八年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十八年十月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

吳海軍航空隊

中 少	佐、大	尉	分隊長	一人
兵 科	尉	官	隊附	十二人
軍 醫	科	尉	官	隊附
				兼務一人(海軍兵學校職員ノ兼務)
中少尉(飛)	飛行兵曹長	隊附		十一人
中少尉(整)	整備兵曹長	隊附		十二人
兵 曹	水 兵			九人(掌信號兵一、掌電信兵三)
飛行兵曹				十六人(掌飛行兵)

内令

三三二

0658

内令

三三三二

整備兵曹、整備兵

二百六十五人

(掌整備兵 掌航空兵器兵(射爆) 三三)

工作兵曹、工作兵

二人

(掌工兵(航空板金))

衛生兵曹、衛生兵

二人

主計兵曹、主計兵

七人

内令第二千二百二十九號

昭和十八年内令第九百二十四號ハ之ヲ廢止ス

本令ハ昭和十八年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十八年十月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照 前記内令ハ第二航空戦隊司令部ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第二千二百三十號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

0659

本令ハ昭和十八年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十八年十月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

高雄警備府(航空關係業務ニ充ツベキモノ)

兵	科	尉	官	附	一人
中少尉(飛)	飛行兵曹長	附	二人		
中少尉(整)	整備兵曹長	附	一人		
兵	曹	水	兵	十人	(掌信號兵 一、掌電信兵 四)
飛	行	兵	曹	二十四人	(掌飛行兵)
整備兵曹	整備兵	五十八人			(掌整備兵 掌航空兵器兵(射爆) 三二)
機關兵曹	機關兵	三人			(掌電機兵 一)
工作兵曹	工作兵	三人			(掌工兵(航空板金 具) 二)
衛生兵曹	衛生兵	一人			
主計兵曹	主計兵	五人			(掌經理兵 一、掌衣糧兵 一)

内令

一三三三

0660

内令第二千二百三十一號

昭和十八年内令第二千六十七號中左ノ通改正ス

本令ハ昭和十八年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十八年十月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

青島方面特別根據地隊ノ部中人員ヲ左ノ如ク改ム

少佐、大尉 隊附 一人

兵科 尉官 隊附 二人

中少尉(飛)、飛行兵曹長 隊附 六人

中少尉(整)、整備兵曹長 隊附 二人

兵曹、水兵 二十人 (掌信號兵 一、掌暗號兵 二)

飛行兵曹 四十五人 (掌飛行兵)

整備兵曹、整備兵 百十二人 (掌整備兵 一、掌航空兵器兵 二、射撃 四)

機關兵曹、機關兵 六人 (掌電機兵 二)

0661

衛生兵曹、衛生兵

二人

主計兵曹、主計兵

十人
(掌衣糧理兵)

参照 前記内令ハ青島方面特別根據地隊ニ人員臨時増陞ノ件ナリ

○正誤

本年内令第二千六百六十四號中「第六十四號(吳)」ハ「第七十號(吳)」ノ誤

内令

三三五

0662



内令第二千二百三十三號

左ノ船舶ヲ特設艦船トシ其ノ種別及所管ヲ左ノ通定ム

昭和十八年十月二十九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

汽船	船舶名	特設艦船種別	所管
室津丸	特設運送船(給油船)		吳鎮守府

5

41117

0663

二百十一設營隊ノ項ノ次ニ

二百十二設營隊

ヲ加ヘ初

雪、伊號第百六十八潛水艦及最上川丸ノ項ヲ削リ第十四砲艦隊ノ項第四欄ニ「一」ヲ加ヘ第五欄「一」ヲ削リ第三十一掃海隊、第三十二掃海隊、第三十三掃海隊及第三十四掃海隊ノ項各第四欄及第七欄ニ「一」ヲ加ヘ第五欄及第八欄「一」ヲ削ル

佐世保鎮守府ノ部中上海海軍特別陸戰隊ノ項「附一」ヲ「附二」ニ改メ呂號第四十四潛水艦ノ項ノ

次ニ 呂號第三十六潛水艦

ヲ、

第六十六防空隊ノ項ノ

第六十七防空隊	一								
第六十八防空隊	一								
第六十九防空隊	一								
第七十防空隊	一								
第一百防空隊	一								

ヲ加

内 令

二三三三

0666

ニ「一」ヲ加へ第五欄及第八欄「一」ヲ削ル

参照 前記内令ハ科長兼分隊長等定員中特務士官ヲ以テ充ツベキ位置ヲ定ムル件ナリ

内令第二千二百二十五號

伊號第三百六十一潛水艦

右本籍ヲ横須賀鎮守府ト定メラル

海防艦 御藏

右本籍ヲ横須賀鎮守府ト定メラル

海防艦 干珠

右本籍ヲ吳鎮守府ト定メラル

昭和十八年十月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第二千二百三十六號

海軍定員令中左ノ通改正セラル

内令

二三三五

0668

一等潜水艦定員表 共ノ二ノ二

考 備	計		乗組		乗組	分隊長兼 機長	分隊長兼 水雷長	分隊長兼 航海長	潜水艦長	第三百六十一	第三百六十一
	特務士官	士官	中尉(水)	中尉(機)	中尉	少佐、大尉	少佐、大尉	大尉	中少佐		
	二人	五人	一	一	一	一	一	一	一		
	兵	下士官	准士官	主計兵	水兵	主計兵	兵	機關兵	機關兵		
四	三	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一
本表ノ外潜水艦ニ編入セザル潜水艦ニハ主計兵曹一人ヲ増加ス	外洋出動ノ場合母艦ノ同伴ナキトキハ乗組トシテ軍醫科士官又ハ看護科特務士官、准士官一人ヲ置ク	在役潜水艦ニハ海軍大臣ノ定ムル所ニ依リ乗組トシテ本定員ノ二倍以内ノ乗員ヲ置ク	乗組中少尉一人ハ砲術長及通信長ノ職務ヲ主トシテ行ハシムルモノトス								

内令第二千二百三十八號

右當分ノ間定員ヲ置カズ

昭和十八年十月三十日

横須賀鎮守府在籍

伊號第三百六十一潛水艦

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第二千二百三十九號

海軍定員令中左ノ通改正セララル

昭和十八年十月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海防艦定員表中「平戸」ノ下ニ「千珠」ヲ加フ

(内令提要卷一、四一八ノ七二頁参照)

内令第二千二百四十號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

内令

二三七

0671

内令

二三八

昭和十八年十月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十七ノ二海防艦ノ部中「平戸」ノ下ニ「千珠」ヲ加フ

(内令提要卷一、四三〇ノ三三頁参照)

内令第二千二百四十二號

海軍定員令中左ノ通改正セラル

昭和十八年十月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海防艦定員表ヲ海防艦定員表其ノ一トス

海防艦定員表其ノ二ヲ別表ノ如ク定ム

(別表一葉添)

(内令提要卷一、四一八ノ七三頁参照)

0672

海防艦定員表 其ノ二

考 備	計		乗 組					乗 組				御 藏	御 藏		
	特 務 士 官	士 官	中 少 尉 (機)	中 少 尉 (水)	主 計 兵	工 作 兵	機 關 兵	兵 曹	機 關 兵 曹 長	兵 曹 長	機 關 兵 曹 長			兵 曹 長	
一 乗組兵科尉官ノ中一人ハ航海長兼分隊長、一人ハ砲術長兼分隊長、一人ハ機雷長兼分隊長、一人ハ機雷長兼分隊長、一人ハ機雷長兼分隊長ニ充ツ 二 乗組中少尉(水)及兵曹長ノ中一人ハ掌砲長、一人ハ掌機雷長ニ充ツ 三 乗組中少尉(機)及機關兵曹長ノ中一人ハ機械長、一人ハ電機長、一人ハ掌機長ニ充ツ 四 海防隊ニ編入セラレザル海防艦ニハ必要ニ應ジ乗組トシテ軍醫科尉官一人、主計科尉官一人、衛生兵曹又ハ衛生兵一人ヲ置クコトヲ得	二人	六人	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
	兵	下 士 官	准 士 官	水 兵	機 關 兵	工 作 兵	衛 生 兵	主 計 兵	兵 曹	機 關 兵 曹	兵 曹	機 關 兵 曹 長	兵 曹 長	機 關 兵 曹 長	兵 曹 長
	百五人	三十三人	三人	六十七	三十	三	一	四	二	二	十	十九	二	一	二

内令第二千二百四十三號

驅逐隊編制中左ノ通改定セラル

昭和十八年十月三十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第九驅逐隊ノ項中「朝雲」ヲ削ル

第十驅逐隊ノ項中「風雲」ノ下ニ「朝雲」ヲ加フ

第二十四驅逐隊ノ項中「涼風」ノ下ニ「滿潮」ヲ加フ

第六十一驅逐隊ノ項中「若月」ノ下ニ「秋月」ヲ加フ

(内令提要卷一、六八頁參照)

内令第二千二百四十四號

潛水隊編制中左ノ通改定セラル

昭和十八年十月三十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

二三四一

0676

第二潜水隊ノ項中「伊號第二十六」ノ下ニ「伊號第四十」ヲ加フ

第三十潜水隊ノ項中「伊號第百六十六」ノ下ニ「呂號第百十一」ヲ加フ

第三十三潜水隊ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第三十四潜水隊 呂號第三十五、呂號第三十六、呂號第三十七、呂號第三十八

(内令提要卷一、七〇頁参照)

内令第二千二百四十五號

吳鎮守府第四豫備艦

軍艦 千代田

右第一豫備艦ト定ム

昭和十八年十月三十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

0677

内令第二千二百四十三號

右本籍ヲ横須賀鎮守府ト定ム

第五十七號驅潛特務艇

右本籍ヲ鎮海警備府ト定ム

第七十一號驅潛特務艇

昭和十八年十月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第二千二百四十四號

昭和十八年内令第八百三十三號別表中左ノ通改正ス

昭和十八年十月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第四十四號(横)」ノ次ニ「第五十七(横)」ヲ加フ
鎮海防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第五十六號(鎮)」ノ次ニ「第七十一號(鎮)」ヲ加フ

内令

一三四一

(前送ノモノト引換ヘ舊紙ハ焼却相成度)

0678

内令

参照 前記内令ハ特務艇ノ所屬ノ件ナリ

三四二

0679

(前送ノモノト引換ヘ舊紙ハ焼却相成度)

内令第二千二百四十五號

驅逐隊編制中左ノ通改定セラル

昭和十八年十月三十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第九驅逐隊ノ項中「朝雲、」ヲ削ル

第十驅逐隊ノ項中「風雲」ノ下ニ「朝雲」ヲ加フ

第二十四驅逐隊ノ項中「涼風」ノ下ニ「滿潮」ヲ加フ

第六十二驅逐隊ノ項中「若月」ノ下ニ「秋月」ヲ加フ

(内令提要卷一、六八頁参照)

内令第二千二百四十六號

潜水隊編制中左ノ通改定セラル

昭和十八年十月三十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

二三四三

0680

内令

二三四四

第二潜水隊ノ項中「伊號第二十六」ノ下ニ「、伊號第四十」ヲ加フ
第三十潜水隊ノ項中「伊號第百六十六」ノ下ニ「、呂號第百十一」ヲ加フ
第三十三潜水隊ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第三十四潜水隊

呂號第三十五、呂號第三十六、呂號第三十七、呂號第三十八

(内令提要卷一、七〇頁参照)

0681

内令第二千二百四十六號

右本籍ヲ横須賀鎮守府ト定ム

右本籍ヲ鎮海警備府ト定ム

昭和十八年十月三十一日

第五十七號驅潛特務艇

第七十一號驅潛特務艇

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

一三四三

0682

内令第二千二百四十七號

昭和十八年内令第八百三十三號別表中左ノ通改正ス

昭和十八年十月三十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第四十四號(横)」ノ次ニ「第五十七(横)」ヲ加フ
鎮海防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第五十六號(鎮)」ノ次ニ「第七十一號(鎮)」ヲ加フ

参照 前記内令ハ特務艇ノ所屬ノ件ナリ

内令

二三四五

0683

内令第二千二百四十七號

(前送ノモノト引換ヘ舊紙ハ焼却相成度)

吳鎮守府第四豫備艦

軍艦 千代田

右第一豫備艦ト定ム

昭和十八年十月三十一日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

内令

一三四五

0684

内令〔第二千二百四十六號〕
〔第二千二百四十七號〕
(後送ス)

内令第二千二百四十八號

左ノ船舶ヲ特設艦船トシ其ノ種別及所管ヲ左ノ通定ム

昭和十八年十月三十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

船名	特設艦船種別	所管
汽船 利水丸	特設運送船(雑用船)	横須賀鎮守府
同 霞丸		

内令

二三四七

0685